

謹賀新年

平成28年1月
公益財団法人日本植物調節剤研究協会 役職員一同

第10回理事会開催

平成27年12月8日(火)、植調会館会議室において開催し、次の事項について承認を得た。

[議案]

1. 重要な財産の譲受けの承認

[報告事項]

1. 水稲除草剤の登録要件の変更に伴う技術指標の作成
2. 問題雑草一発処理剤ロゴマーク(商標登録)の許諾

人事異動

平成28年1月1日付

命 研究所環境科学部環境第二研究室主査研究員

大島 匡郎

学会・研究会の紹介

●平成27年度植調関東支部雑草防除研究会・関東雑草研究会 合同研究会

日時:平成28年3月11日(金) 9:15~16:40

会場:文部科学省研究交流センター

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-5

詳細:次のサイトをご覧ください。

<http://www.shokutyokanantou.jp/>

<https://sites.google.com/site/kantozassokenkyukai/home/news>

●日本雑草学会第55回大会

日時:平成28年3月28~30日(月~水)

会場:東京農業大学世田谷キャンパス1号館及び横井講堂

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

詳細:次のサイトをご覧ください。

<http://wssj.jp/conference/>

編集後記

新年明けましておめでとうございます。49巻10号(1月号)をお届けします。10号は1号に続いての大豆圃場の雑草特集です。

日本人の調味料である味噌、醤油は大豆から作られていて、大豆は日本人にとってなくてはならない作物ですが、食用大豆の約8割が輸入であり、国産は約2割に過ぎないそうです。そのため、大豆の増産は急務であり、いろいろな報告が出されていることから、2回目の大豆圃場の雑草、特に雑草防除をテーマにしました。

「ダイズの草高/条間比を目安としたマルバールコウの防除終了時期」はダイズの成長に合わせた防除の目安の付け方を紹介しています。「大豆作における雑草一発防除技術の可能性」は、水稲作と同じように一発処理が可能であるか、植調協会研究所で薬剤の検索を行っており、その一部を紹介しました。「山口県の大豆圃場における成熟期の残草実態」では、山口県で行った大豆圃場での雑草の実態調査を紹介しました。今後の雑草防除に大変参考になる記事と思っています。

また、この号では除草剤の使用時期の目安となる葉齢推定の指標について解説いただきました。併せて資料として除草剤試験から見た葉齢進展のグラフを載せています。その他、いろいろな記事を載せることができた号となりましたが、読者の皆様の参考になれば幸いです。

(編集子)

植調第49巻 第10号

- 発行 平成28年1月12日
- 編集・発行 公益財団法人日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話(03)3832-4188 FAX(03)3833-1807
- 発行人 小川 奎
- 印刷 (有)ネットワン

© Japan Association for Advancement of Phyto-Regulators (JAPR) 2015

頒布価 500円(消費税・送料は含んでおりません)
販売 株式会社全国農村教育協会
〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
電話 03-3833-1821